

保護者の皆様をお願いしたいこと

全国的に、携帯電話やスマートフォン、パソコンなどインターネットに依存する子どもたちが多くなっている傾向があり、高浜町においても、生活習慣にかかる質問紙では、テレビやゲーム、携帯電話やスマートフォンなどの使用時間を問う項目において、全国や福井県と比較し使用時間が長くなっている傾向がみられます。家庭では今一度しっかりと、携帯電話等の利用目的や人の迷惑にならない正しい使い方、一日のテレビゲーム等の時間について話し合い、子どもとの理解共有を深めていただくことをお願いします。

課題として、家での勉強時間が30分未満の子どもが多いことや、家や図書館で読書をする時間が小中学校ともに少なくなっています。学習内容をしっかりと身に付けるためには、授業の復習にその日のうちに取り組むなど家庭でも学習時間を確保することが大切です。また、読書は、子どもたちの感性を豊かにし、好奇心や疑問に気づき自ら解決する手がかりを得ることにもつながります。学習・読書習慣の定着に保護者の皆様のご理解とご協力・ご支援をお願いします。

また、自尊感情や自己肯定感にかかる項目においては、高浜町の子どもたちは全国や福井県に比べて低い傾向にあります。子どもたちが人や社会など様々な環境に適応しながら健やかに成長していくためには、心の基盤や“よりどころ”となる自尊感情や自己肯定感を高めることが大切です。学年を問わず、子どもたちのがんばりがみられるときは、良い結果を得ることができなくても、しっかりとほめてあげてください。

今回の調査から、「毎日朝食を食べている」「家の人と学校での出来事について話をしている」「家で学校の宿題をしている」「家での学習時間が長い」「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」などと回答した子どもたちの学力が高いことが分かりました。

子どもたちの学力の向上は、生活・学習習慣と相関関係があることから、学校における取組の充実と家庭での良好な生活習慣の確立の両輪によって、図られるものと考えます。

今後も、各学校において、家庭と連携しながら、子どもたちをより伸ばすことができるよう組織的な取組みを推進していきますので、保護者の皆様のご理解とご協力・ご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

